

第1号

会報 めいおんの会

発行

平成23年7月1日

「めいおんの会」(名音大出身名古屋市教員の会)

事務局 名古屋市緑区大清水四丁目522

TEL・FAX (052) 877-1243

発行責任者 会長 百合草 薫

つなげよう！同窓同職の絆

会長 百合草 薫 (45年卒)

東日本大震災からまもなく4カ月。復興への願いをこめて、各方面から支援活動が続けられています。先生方の学校におかれましても、「今、私たちにできる支援を！」と、子どもたちが主体となった様々な活動が行われていることと思います。その中には合唱部や吹奏楽部の演奏会で、出演の子どもたち自ら来場者に募金を呼びかけた学校もあるように聞いています。また、子どもたちが新聞記事を持ち寄り、大震災について学習する授業を計画されたり、音楽の授業では戦災の復興を願って作られた「花の街」(中学校歌唱共通教材)を取り上げ、今回の大震災と重ね合わせて授業をされたりする会員の先生もみえることを聞いています。そして大震災関連の報道から、子どもたちは様々なことを感じ、学び、考えていることと思います。今ある自分に感謝し、今後活かしてくれることを願っています。

さて、「めいおんの会」は今年、設立3年目を迎えました。先生方には初任研を始め、授業力を高める研修、発声や指揮法等の実技研修など、様々な研修の機会がありますが、本会はこれらの研修会とは若干趣旨を異にしています。それは受講を通して力量を高めることを目的としているだけでなく、名音大とも連携し、母校の先生を講師とした研修を始め、授業のアイデアや教材の紹介、部活動のアドバイスなどを通して、同窓同職のネットワークを広げ、互いに支えあい、高めあっていくこともねらいとしています。

とりわけ、卒業こそ1年前から40年前までと開きがありますが、名音大で学び、卒業後名古屋市の教員をしている点では共通です。経験年数や立場も様々ですが、それらを越えて学びあい、情報交換のできる事が本会のよいところでもあります。ここ数年、母校出身の先生方も増えてきており、名古屋市では本務76名のうち、経験10年目までの先生方が約35%を占めています。今こそ同窓同職の絆を大切に、若い先生方を皆で支え、育て、そして共に成長していきたいものです。

私は昨年3月、牧の池中学校長を最後に教職から離れましたが、本会を通して教

育に関わらせていただいていることをありがたく思っています。微力ではありますが、会の充実のため尽力してまいります。ご協力をお願い申し上げます。

総会・研修会・懇親会のお知らせ

| | | | |
|-------|---|-------------------------------------|-----------------------------|
| 日 | 時 | 平成23年8月28日(日) | 10:30~15:00 |
| 会 | 場 | 名古屋音楽大学 | 総会・研修会(博聞館D101教室)、懇親会(学園食堂) |
| 研修会内容 | | 「大地の響きを求めて」～ガムランの演奏と体験～、「打楽器の指導Q&A」 | |
| 講 | 師 | 名古屋音楽大学特任教授 栗原 幸江先生、スカル・サクラ | |

【会員の異動】 敬称略(卒年)

教諭

<退職>お世話になり、ありがとうございました。

追立希美枝(46) 苗代小 三浦 聖司(9) 東港中

<転任>

後藤 和乃(58) ほのか小→**白金小** 中西 功(61) 菊井中→**平田中** 加藤祐三子(1) 高針台中→**千種中**
吉川 恵子(5) 当知小→**旗屋小** 鈴木 美香(8) 天白中→**神の倉中** 滝川 顕子(14) 道德小→**上野小**
湯浅ひとみ(16) 大高中→**久方中**

<新任> よろしくお願ひします。

蟹江 紗矢(19) **守山中**

講師(23年度勤務校)

瀬口 正弓(49) **菊住小**

杉山まり子(50) **諏訪小**

瀨瀬 祐子(51) **野田小**

大須賀典子(55) **大手小**

岩田 理恵(62) (桑名) **在良小**

出井 令子(63) **岩塚小**

【新任教員紹介】

木下まゆみ(63) **旭出小**

宮田 靖子(4) **中島小**

吉田 友紀(6) **豊治小**

入江 允(12) **稲永小**

佐藤 仁美(13) **明德小**

藪中 優夏(17) **港楽小**

吉田 路子(19) **春田小**

三浦あゆみ(22) **南陽東中**

森田 恭子(22) **はとり中**

戸田 高嶺(22) **南光中**

教師になって

守山中学校 蟹江 紗矢 (19年卒 ピアノ)

私は、小学校での経験しかないため、赴任当初は一日の流れを追うことで必死でした。学校や生徒の様子をつかめず、戸惑うこともありました。しかし、生徒の笑顔を見ると「今日も一日がんばろう」と元気が出ます。

現在、1年生のクラス担任をしていますが、生徒たちも1か月经ち、ようやく新しい環境に慣れてきたようです。しかし、学級経営・授業・保護者対応など課題はたくさんあります。今の教員としての力では、自信を持って対応できるわけではないので、周りの先生方と連絡し合い、協力し合い、あせらずがんばっていきたいと思います。

(H23.5.10)

【教材紹介】

「あすという日が」 (混声三部合唱) 山本 璿子 作詞 八木澤 教司 作曲

2006年に発表された合唱曲。仙台市の某中学校合唱部が、自校の体育館に避難されている方々を励まそうと開いた「復興支援コンサート」で歌い、その模様が新聞やTVで紹介されたことや、某ミュージシャンがCDカバーして一躍脚光を浴びてきた。詩は被災された方々に夢を与え、曲は斉唱から二部、三部へと発展し、音の重なりの変化を感じとらせるのにふさわしい。(百合草 薫)

BRASS & CHORUS 「吹奏楽と合唱の祭典」 指揮 佐渡 裕

シエナ・ウインド・オーケストラ 晋友会合唱団 <AVCL-25718>

中学生が好きな合唱曲「COSMOS」を始め、「旅立ちの日に」「大地讃頌」などがブラスと合唱の

コラボで今話題の佐渡 裕の指揮で聴ける。「アフリカン・シンフォニー」も合唱付で聴ける。(百合草 薫)

《編集後記》 会報「めいおんの会」第1号をお届けします。会員相互の情報を共有し、力量を高める機会となるよう適宜発行していく予定です。皆様から教材の紹介や授業のアイデアなどをお待ちしています。